

平成 25 年度独立行政法人日本学生支援機構  
障害学生修学支援ネットワーク充実・強化事業  
—障害学生支援に関する調査研究 [関西学院大学協力事業] —

## 研究報告書

# 高校から大学への移行期における 発達的变化と環境変化が学校適応に及ぼす影響

平成 26 年 3 月 31 日  
研究代表者 米山直樹 (関西学院大学)

# 研究報告書 目次

研究プロジェクトメンバー	1
第 I 部 本研究の概要と調査結果	2
第 1 章 研究の概要	2
第 1 節 研究の目的	2
第 2 節 調査の方法	2
1. 調査手続きおよび実施期間	2
2. 調査対象者	2
第 3 節 調査の内容	2
第 2 章 調査の結果および考察	3
第 1 節 環境的変数	3
1. 基本属性	3
第 2 節 器質的・気質的変数	3
1. 修学の困難さ	3
(1) 発達障がいチェックリスト	3
1) 発達障がいチェックリストとは	3
2) 項目単位の基礎統計量	3
第 3 節 個人差変数	5
1. 心理的変数	5
(1) レジリエンス	5
1) 首尾一貫感覚	5
① 首尾一貫感覚とは	5
② 項目単位の基礎統計量	5
第 4 節 適応変数	6
1. 心理的変数	6
(1) 一次的適応感	6
1) 学業適応感	6
① 学業適応感とは	6
② 項目の基礎統計量	7
第 3 章 まとめにかえて—研究の総括—	8
引用文献	9
第 II 部 資料 1 諸変数に関する性別・学年別のクロス集計表	10

## 研究プロジェクトメンバー

### (教員)

米山 直樹 関西学院大学文学部 教授(臨床心理学・応用行動分析学)  
井出 浩 関西学院大学人間福祉学部 教授(児童精神医学・学校精神保健学)  
成田 健一 関西学院大学文学部 教授(生涯発達心理学・臨床発達社会心理学)  
榎木 隆寿 関西学院大学文学部 契約助手(学習心理学・行動心理学)

### (総合支援センタースタッフ)

徳田 真二 関西学院大学総合支援センター 課長  
中島 道子 関西学院大学総合支援センター 学生支援相談室カウンセラー  
鈴木 ひみこ 関西学院大学総合支援センター キャンパス自立支援室コーディネータ  
大江 佐知子 関西学院大学総合支援センター キャンパス自立支援室コーディネータ

### (大学院生)

吉田 絵美 関西学院大学大学院文学研究科 博士課程後期院生

### (サポートスタッフ)

里見 香奈 関西学院大学文学部 4年生

## 第 I 部 本研究の概要と調査結果

### 第 1 章 研究の概要

#### 第 1 節 研究の目的

特別な支援ニーズを持った学生が、大学でより適応的に学生生活を過ごすために必要な合理的配慮を明らかにすることは、必ずしも簡単なものではない。そこで本研究では、多様な困難を抱える学生の様々な課題解決を目指し、適応をもたらす条件や要因を探索的に検討するため、異年齢群間の横断的な比較を目指したい。特に、移行期を念頭におき、高校 3 年生および大学生 1~4 年生を対象とし、環境的変数、器質・気質的変数、個人差変数、適応変数に関して比較検討を行う。なお本研究は自記式の質問紙調査を用いて実施するため、あくまでも当該個人の主観的な認知によって諸変数が測定されていることには留意されたい。

また本稿の範囲では、諸変数の記述統計量に注目した。とりわけ、発達段階別——本研究では高校 3 年生、大学生 1~4 年生の 5 つの各学年別——に諸変数の記述統計量を検討する。また本報告においては、測定した諸変数全てをとりあげるのではなく、代表的な変数を厳選し、記述統計量によって各変数や各段階の特徴を描き出すことに注力する。

#### 第 2 節 調査の方法

##### 1. 調査手続きおよび実施期間

本調査は質問紙による自記式調査であった。後述する高校生に対しては、原則としてクラス単位の集合法で 2014 年 1 月に実施した。一方、大学生に対しては郵送法で 2014 年 2 月に実施した。

##### 2. 調査対象者

本研究における調査の対象としたのは、関西地方の私立大学に関連のある高等学校の 3 年生生徒 632 名、並びに同大学の 1~4 年生の学生 5384 名であった。調査の対象となった総計 6016 名（高校生：632 名、大学生：5384 名）のうち、最終的には 1874 名（高校生：505 名、大学生：1369 名）から質問票が回収された。調査票未達分なども勘案した回収率は 31.80%となった。

#### 第 3 節 調査の内容

##### 1. 調査票の構成と分析

調査票は、1)環境的変数群、2)器質的・気質的変数群、3)個人差変数群、4)適応変数群、の 4 部、15 の質問で構成されていた。本研究では様々な変数を測定したが、本稿では各部を代表する変数に絞り、各学年と変数とのクロス集計による記述統計についてのみ報告する（特別な検討は加えないが、参考までに性別と変数とのクロス集計も示す）。第 2 章で取り扱う諸変数のクロス集計表については第 II 部に全てまとめて示す。必要に応じて、適宜参照して欲しい。

## 第2章 調査の結果および考察

### 第1節 環境的変数

#### 1. 基本属性（裏表紙・図表 2-1-1 参照）

本研究では、基本属性として年齢、学年、性別をとりあげている。まず年齢に関して、平均年齢は 19.70 歳（標準偏差 1.59）、17 歳～27 歳の範囲であった。学年は高校 3 年生～大学 4 年生までの各学年に分布していた。調査対象となった大学では、留年という制度が無い大学であるため、大学に 5 年以上在籍したとしても、全て 4 年生として扱われる点には留意されたい。

男性 919 名、女性 954 名の男女比は、若干女性が多いがほぼ 50%ずつとなった。調査対象となった大学の 2013 年度在籍者数によると、女性が約 48%、男性が約 52%であった。このため回答者はわずかに女性が多いが、その差は微々たるものである。したがって、男女比の点からは、当該大学における代表性がある程度確保できていると考えられよう。

### 第2節 器質的・気質的変数

#### 1. 修学の困難さ

##### (1) 発達障がいチェックリスト

##### 1) 発達障がいチェックリストとは

本研究で利用した発達障がいに関わるチェックリストは全 38 項目で構成されており、佐藤・小塩（2007）において試案として作成されたものである。代表的な 3 つの発達障がい（学習障害：LD、注意欠陥・多動性障害：ADHD、高機能自閉症：HFA）のそれぞれとの対応が予測される項目群が用意されている。その後、原田（2009）において、項目の精選も提案されているが、本研究ではオリジナル項目の全 38 項目を利用した。

本チェックリストは生徒・学生当人に回答を求め、当人の困り具合の評価を求めるセルフチェックリストであった。ただし本研究においてはこのチェックリストの回答方式（評価方法）の一部改変を行った。チェックリストに示されている事項を、まず自覚しているかいないか（そうしたことがあるか無いか）について 2 件法（0. 無い、1. 有る）で回答を求めた。その後、有と回答した場合にのみ、困り感の程度の回答を双極の 4 件法（1. 困っていない、2. どちらかといえば困っていない、3. どちらかといえば困っている、4. 困っている）で回答を求めた。具体例を図表 2-2-1 に示す。

##### 2) 項目単位の基礎統計量（図表 2-2-2a, b, 図表 2-2-3a, b, 図表 2-2-4a, b 参照）

本尺度の各項目は、前述のとおり①LD ②ADHD ③HFAのいずれかの特性を測定すると推測されている。本節では、その 3 つの特性をそれぞれ測定する項目の代表例を取り上げて結果を報告したい。

第一に、LDを測定すると推測される項目、問 6(3)「文字を読むことが苦手だ」では、全体の 2 割が「1. 有る」と回答しており、この傾向はどの学年でもほぼ同じ程度であった。困り度については、困っている寄りの回答は 5～6 割程度であり、学年単位に見ると、大学

問6 以下の文それぞれについて、あなたは経験したり、感じたことがありますか？  
 「0.無い」「1.有る」のいずれかを選択してください。  
 その後、「有る」場合は「1. 困っていない」～「4. 困っている」のうち、  
 あなたにあてはまる数字 1つを選んで○をつけてください。

(1)～(55)まで、○は「有無」、「困っていますか」のそれぞれに1つずつ

	有無		その事であなたは困っていますか？			
	無い	有る	困っていない	どちらかといえ 困っていない	どちらかといえ 困っている	困っている
(1) 授業になんとか集中できない時がある .....	0	1	→ 1	2	3	4
(2) 手書きで文字を書くのがとても遅い、 または文字を上手に書くことができない .....	0	1	→ 1	2	3	4
(3) 文字を読むことが苦手だ .....	0	1	→ 1	2	3	4
(4) 本を読むのに時間がかかる .....	0	1	→ 1	2	3	4
(5) 計算が苦手だ .....	0	1	→ 1	2	3	4

図表 2-2-1 発達障がいチェックリストの回答例

4年生でやや低下していたが、さほど大きな変化ではなかった。ただし、「1. 困っていない」という極値の反応に着目すると、高校3年生で19.8%であったものが、大学1年生では11.4%に減少する。その後、大学2～4年生では20%程度にまで回復する。困る程度はそれほどではなく、人数もそれほど多い訳では無いかもしれないが、大学1年生が若干の問題を抱えている様子が見えてくる。大学における初年時教育において注意を要することかもしれない。

さてこの項目、問6(3)は、発達的に大きな変化は見られなかった。本チェックリストの項目毎の選択肢に対する回答頻度など、過去の基礎データは必ずしも十分ではないので、直接的な比較は困難である。ただ、回答者全体の約2割にも上るほど多くの人が学習障害の一種である読字障害（ディスレキシア）であるとは考えにくい。このため、実際の支援を考える際には困っている内容を精査する必要があるだろう。ただ困った経験のある人約2割のうち、半数以上の人どちらかという困っていることは注目に値する。その困る内容を検討し、必要に応じた適切な支援に結実させる必要があるだろう。

第二に、ADHDおよびHFAを測定すると推測される項目、問6(22)「学業、クラブ・サークル、アルバイトなどから何を優先すべきかを判断することが難しい」では、全体の2割弱が「1. 有る」を選択していた。学年ごとの検討においては、高校3年生から大学3年生にかけて、変化は見られなかった。しかし大学4年生で困った経験のある人はわずかに減少していた(4.4ポイントの減)。また、困り度については、困っている寄りの回答が5割強を占めていた。学年ごとに大きな変化は見られなかったが、高校3年生や大学1年生では、「4. 困っている」と極値の報告する人が約1/4にも上っていた。大学2～4年生で「困っている」

人は20%以下であり、漸減する傾向にあった。おそらくは何を優先すべきかを判断が学年を経るにつれ、理解できるようになった、と思われる。特に4年生では履修する授業数の減少、部活やサークルの引退、就職を控えアルバイトからの退職など、両立させることにそもそも困難を感じない環境が整ったとも考えられよう。

第三に、HFAを測定すると推測される項目、問6(14)「ざわざわした教室にいるのは耐えられない」では、全体の3割強が「1. 有る」を選択していた。学年ごとに検討してみると、高校3年生では困った経験のある人は2割程度であるのに対し、大学生は4学年を通し4割程度に増加していた。困り度についても、各学年を通して約6割もの人が困っている寄りの回答を選択していた。そもそも高校での授業は基本的に少人数制であるが、大学では数百人を収容する大教室での授業が多い。本調査に自主的に回答し返送する学生にとっては、そうした教室の騒がしさには耐えられないと判断することも十分あり得るだろう。したがって成熟ともなう発達的な変化というよりは、大学という環境的な変化がもたらした影響と考えた方が妥当かもしれない。つまり、この結果から高機能自閉症的症状が、発達的に増加する傾向にある、とは必ずしも言えない。この項目に反応する人の中でより問題を抱えている人を同定していくことが有効な支援を行うためには必要なことである。

発達障がいチェックリストに関しては、上述の結果となった。項目を個々に見ていくと、各学年特有の環境の影響を受けている可能性も想定され、発達の諸相あるいは発達障がいの現れのみでこの変化を説明できるとは考えにくい。したがって、これらの項目は単項目だけで判断すると返って問題が生じる可能性もあろう。今後はこのデータの再解析を行い、尺度化して検討していく必要があるだろう。

### 第3節 個人差変数

#### 1. 心理的変数

##### (1) レジリエンス

##### 1) 首尾一貫感覚

##### ① 首尾一貫感覚とは

不適応状態から回復する能力や過程を意味する「レジリエンス」は様々に定義され、様々に測定されている。ここでは「レジリエンス」の一側面を担うであろう「首尾一貫感覚」に着目したい。首尾一貫感覚 (Sense of Coherence: SOC) とは「その人に浸透した、動的ではあるが持続する確信の程度を表す全人的な方向性」と定義される (Antonovsky, 1987)。換言すると、自分の生活世界が首尾一貫している、筋道が通っている、訳が分かる、腑に落ちるという知覚・感覚を指す。

首尾一貫感覚は、1)把握可能感(自分の内外で生じる環境刺激は秩序づけられており、予測と説明が可能であるという確信)、2)処理可能感(環境刺激がもたらす要求に対応するための資源はいつでも得られるという確信)、3)有意味感(そうした要求は挑戦であり、心身を投入し関わるに値するという確信)という3つの下位概念で構成される(戸ヶ里, 2008a)。

やや乱暴になるが、世の中や人生は 1) 予測・理解できる, 2) 困っても何とか対処できる, 3) 意味があって価値がある, と考えられる感覚と言える。こうした確信が、環境と個人の相互作用からなる生活世界で具体的行動をもたらす。そして、これら 3 つの確信 (志向性) に基づき、個人が置かれた生活環境の中で積極的に行動することで健康保持機能, ストレス対処機能が発揮されると考えられている (戸ヶ里, 2008a)。

本調査ではこの 3 つの下位概念を各 1 項目で測定する東大健康社会学版 SOC3 スケール (SOC3-UTHS ; 戸ヶ里, 2008b) を使用した。評定は双極の 7 件法 (1. 全くあてはまらない, 2. ほとんどあてはまらない, 3. あまりあてはまらない, 4. どちらともいえない, 5. 少しあてはまる, 6. だいたいあてはまる, 7. 非常にあてはまる) である。3 項目の総和を首尾一貫感 覺得点とするが、ここでは 3 つの下位概念——1) 把握可能感 (問 13(27)), 2) 処理可能感 (問 13(25)), 3) 有意味感 (問 13(26)) ——について、一つずつ検討する。

## ② 項目単位の基礎統計量 (図表 2-3-1a, b, c 参照)

問 13 (25) 「私は、日常生じる困難や問題の解決策を見つけることができる」および問 13 (27) 「私は、日常生じる困難や問題を理解したり予測したりできる」の項目に対し、あてはまる寄りの回答を選択した人は全体の 5 割程度であった。一方、問 13(26) 「私は、人生で生じる困難や問題のいくつかは、向き合い、取り組む価値があると思う」の項目に対しては、あてはまる寄りの回答は全体の 8 割弱にもものぼっていた。生きていく上で出会う困難や問題を理解も対処もできる、という人が約半数存在する一方で、大多数の人がそれらの困難や問題に意味を見いだしていると言える。つまりは、人生を意味があって価値のあるものだとして捉えており、多くの生徒・学生に十分な首尾一貫感覚が備わっていると言えそうだ。

学年別で見た場合も、項目によってその割合は若干異なるものの、概ね各項目とも、学年が上がるにつれて首尾一貫感覚が高くなっている傾向を示していた。高校 3 年以降の大学内外におけるさまざまな人生経験——それは学業、課外活動、その他様々な活動を含み得るだろう——が、自分の生活している世界の肯定に導いているのかもしれない。

一方で、この箇所のみならず本研究全体にわたって注意しなければならないことであるが、今回の対象者であるからこそ、このようなポジティブな回答パターンになった可能性も排除することはできない。したがって、本研究結果と過去のデータとの比較検証が当然ながら必要となる。この点はまた改めて検討することとしたい。

## 第 4 節 適応変数

### 1. 心理的変数

#### (1) 一次的適応感

##### 1) 学業適応感

#### ① 学業適応感とは

高校・大学など学校への適応において、学業的側面は最も重要な意味を持つと言われる。実際、学生が自分自身を自己評価する際、学業は大きく関わっていることが指摘されている

(溝上, 2001)。それは、大学が教育機関であり学生の本分が学業である、というある種の正論に基づくものかもしれない。しかしもちろんそれだけには留まらない。個々の学生は、高校で経験したであろうある種受け身的な学習スタイルから、大学では主体的な学習スタイルへの変化を強いられる。この時、適応的な学生ほど、大学で求められやすい自律的で認知的な学習方略を持って学業に従事することが指摘されている（たとえば、佐伯・平田・成田, 2013）。つまり、学業そのものを重荷と感ずることなく、学業に対して興味や関心をもって主体的に取り組めるかどうかということが、適応にとって重要となる。

そこで本研究では、「勉強・学問のことで負担が大きいと感じる」という包括的な1項目を自作し学業適応感を測定する。「負担が大きい」という表現を用いることで、ネガティブな方向から測定した。このため、正確には学業不適応感を測定することとなる。したがってポジティブな方向からの測定——たとえば、内発的に動機づけられて、積極的に勉学に取り組もうという姿勢——などは測定されていない。

なお評価方法は、前述の「発達障がいチェックリスト」と同様の2段階の質問形式で測定した。つまり問6(41)「勉強・学問のことで負担が大きいと感じる」という事をまず自覚しているかないかの回答を2件法(0.無い, 1.有る)で求めた。その後、有と答えた場合のみ、困り感の程度の回答を双極の4件法(1.困っていない, 2.どちらかといえば困っていない, 3.どちらかといえば困っている, 4.困っている)で回答を求めた(具体例は前述の発達障がいチェックリストと同じ図表2-2-1に示す)。

## ② 項目の基礎統計量(図表2-4-1a, b参照)

全学年において、「1.有る」と答えた人は3割を示していた。困り度を見てみると、「3.どちらかといえば困っている」と答えた人がもっとも多く、選択率は38.9%であり、困っている寄りの反応は約6割に上った。

学年別に見てみると、高校3年生で「1.有る」と答えた人は約3割であるが、大学1年生では約4割が負担に感じていた。その後、徐々に負担と感ずる率は減少しており、大学4年生では2割を下回る事となっている。本調査の対象者の問題も無視することはできないが、高校3年生ではなく、大学1年生が最も学業を負担と感ずている結果は興味深い。また、困る側に反応した割合は、高校3年生と大学1年生はともにほぼ6割であるが、大学4年生では4割5分程度に低下している。

大学は高校とは異なり、自らすすんで学問に取り組む姿勢が前提となっている。その勉学スタイルの差の戸惑いからか大学入学時には学業不適応感をもつ人が増えるが、徐々に慣れていき不適応感も低減していくのであろう。このような初年時の学業不適応感をどのように解消するのかという点は、大学教育における1つの課題と言えるかもしれない。

### 第3章 まとめにかえて—研究の総括—

近年、発達障がいをもつ学生だけでなく、様々な適応上の課題を抱えた学生が増加しつつあることが、日本学生支援機構による調査報告などから明らかになってきている。こうした特別な支援を必要とする学生を支援するためにも、大学をはじめとする高等教育における支援体制の充実がますます重要なものとなっている。しかしながら、そうした問題への対応は、取得単位の不足や留年等の問題が明らかになってから始められるなど、後手に回る事が多く、予防的な対策については未だ十分なものが確立されていない。また、発達障がいなど入学時点の段階で大学側がその存在を把握していた場合でも、どのような支援が有効なのか、まだ不明な部分も多く、支援を行う側も手探りの状態で行っているのが現状である。

本研究はこうした特別な支援を必要とする学生に対する支援を考える上で、特に予防的視点や発達の視点に関する有効な知見をもたらすものと期待される。一方、今回の研究は横断的研究に留まっており、時間的経過に関するデータを収集したものではないため、学年差について直接的比較をすることはできないところが限界点として指摘されよう。この点については、今回対象となった生徒・学生を対象に今後継続的に経過的变化を調査することによって、縦断的研究として昇華させることが期待される。

なお、本研究を実施するにあたり、日本学生支援機構や関西学院に属する部署部門から多くの支援・協力を受けた。記して感謝したい。そして最後に、本研究の調査に協力してくれた多くの生徒・学生に心よりお礼を述べる。彼らの協力に報いるためにも、本研究の成果が様々な形で還元されることを祈念している。

研究代表者：米山直樹

## 引用文献

- Antonovsky, A. (1987). *Unraveling the mystery of health: How people manage stress and stay well*. San Francisco: Jossey-Bass Publishers. (アントノフスキー, A. 山崎喜比古・吉井清子 (監訳) (2001). 健康の謎を解く—ストレス対処と健康保持のメカニズム—有信堂)
- 原田公人(研究代表) (2009). 高等教育機関における発達障害のある学生に対する支援に関する研究——評価の試みと教職員への啓発——(平成19年度—平成20年度)共同研究研究報告書, 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所・独立行政法人日本学生支援機構.
- 溝上慎一 (2001). 大学生の自己と生き方—大学生固有の意味世界に迫る大学生心理学—, 京都: ナカニシヤ出版.
- 佐伯昌洋・平田薫・成田健一 (2013). 大学移行における自己調整学習方略の変化と大学適応との関連: 面接調査を用いた探索的研究, 関西学院大学高等教育研究, **3**, 41-53.
- 佐藤克敏・小塩允護(監修)・原田公人・渡辺哲也・徳永 豊・涌井 恵 (編) (2007). 発達障害のある学生支援ケースブッカー—支援の実際とポイント—, 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所・独立行政法人日本学生支援機構.
- 戸ヶ里泰典 (2008a). 大規模多目的一般住民調査向け東大健康社会学版 SOC3 項目スケール: (University of Tokyo Health Sociology version of the SOC3 scale: SOC3-UTHS)の開発 東京大学社会科学研究所 パネル調査プロジェクト, ディスカッションペーパー, **4**.
- 戸ヶ里泰典 (2008b). Sense of Coherence(SOC)と一般住民調査向け短縮版 SOC スケールの開, *iHope Newsletter*, **18**, 1-4.

図表2-1-1 基本属性

性別	男性	919 49.0%
	女性	954 50.9%
	欠損データ	1 0.1%

年齢	17歳	98 5.2%
	18歳	436 23.3%
	19歳	381 20.3%
	20歳	351 18.7%
	21歳	288 15.4%
	22歳	245 13.1%
	23歳	54 2.9%
	24歳	6 0.3%
	25歳	4 0.2%
	27歳	1 0.1%
	欠損データ	10 0.5%

学年別	高校3年	(全体)	505 27.0%	(男性)	326 17.4%
				(女性)	179 9.6%
				(不明)	%
	大学1年	(全体)	415 22.1%	(男性)	188 10.0%
				(女性)	226 12.1%
				(不明)	1 0.0%
	大学2年	(全体)	353 18.8%	(男性)	157 8.4%
				(女性)	196 10.4%
				(不明)	%
	大学3年	(全体)	293 15.6%	(男性)	117 6.2%
				(女性)	176 9.4%
				(不明)	%
大学4年	(全体)	299 16.0%	(男性)	127 6.8%	
			(女性)	172 9.2%	
			(不明)	%	
欠損データ	(全体)	9 0.5%	(男性)	4 0.2%	
			(女性)	5 0.3%	
			(不明)	%	

図表2-2-2a 発達障がいチェックリスト

問6 以下の文それぞれについて、あなたは経験したり、感じたりしたことがありますか？「0.無い」「1.有る」のいずれかを選択してください。  
(3)文字を読むことが苦手だ

		(0) 無い	(1) 有る	欠損 データ	T O T A L
TOTAL		1,493 79.7%	367 19.6%	14 0.7%	1,874 100.0%
性別	男性	734 79.9%	178 19.4%	7 0.7%	919 100.0%
	女性	758 79.5%	189 19.8%	7 0.7%	954 100.0%
	不明	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%

図表2-2-2b 発達障がいチェックリスト

問6 以下の文それぞれについて、あなたは経験したり、感じたりしたことがありますか？その事であなたは困っていますか？  
(3)文字を読むことが苦手だ

		(1) 困 って いな い	(2) い え ば ど ち ら か と い い	(3) い え ば ど ち ら か と 困 っ て い る	(4) 困 っ て い る	欠損 データ	T O T A L
TOTAL		64 17.4%	95 25.9%	137 37.3%	69 18.8%	2 0.6%	367 100.0%
性別	男性	35 19.7%	49 27.5%	65 36.5%	27 15.2%	2 1.1%	178 100.0%
	女性	29 15.4%	46 24.3%	72 38.1%	42 22.2%	0 0.0%	189 100.0%
	不明	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

学年別		全体		男性		女性		欠損 データ	TOTAL
		人数	割合	人数	割合	人数	割合		
高校3年	(全体)	389	77.0%	111	22.0%	5	1.0%	505	100.0%
	(男性)	257	78.8%	65	20.0%	4	1.2%	326	100.0%
	(女性)	132	73.7%	46	25.7%	1	0.6%	179	100.0%
	(不明)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
大学1年	(全体)	332	80.0%	79	19.0%	4	1.0%	415	100.0%
	(男性)	149	79.3%	38	20.2%	1	0.5%	188	100.0%
	(女性)	182	80.5%	41	18.2%	3	1.3%	226	100.0%
	(不明)	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
大学2年	(全体)	277	78.5%	73	20.7%	3	0.8%	353	100.0%
	(男性)	121	77.1%	34	21.6%	2	1.3%	157	100.0%
	(女性)	156	79.6%	39	19.9%	1	0.5%	196	100.0%
	(不明)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
大学3年	(全体)	243	82.9%	50	17.1%	0	0.0%	293	100.0%
	(男性)	99	84.6%	18	15.4%	0	0.0%	117	100.0%
	(女性)	144	81.8%	32	18.2%	0	0.0%	176	100.0%
	(不明)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
大学4年	(全体)	245	81.9%	52	17.4%	2	0.7%	299	100.0%
	(男性)	104	81.9%	23	18.1%	0	0.0%	127	100.0%
	(女性)	141	82.0%	29	16.8%	2	1.2%	172	100.0%
	(不明)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
不明	(全体)	7	77.8%	2	22.2%	0	0.0%	9	100.0%
	(男性)	4	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	100.0%
	(女性)	3	60.0%	2	40.0%	0	0.0%	5	100.0%
	(不明)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

学年別		全体		男性		女性		欠損 データ	TOTAL				
		人数	割合	人数	割合	人数	割合						
高校3年	(全体)	22	19.8%	25	22.5%	35	31.6%	27	24.3%	2	1.8%	111	100.0%
	(男性)	17	26.1%	15	23.1%	21	32.3%	10	15.4%	2	3.1%	65	100.0%
	(女性)	5	10.9%	10	21.7%	14	30.4%	17	37.0%	0	0.0%	46	100.0%
	(不明)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
大学1年	(全体)	9	11.4%	25	31.7%	31	39.2%	14	17.7%	0	0.0%	79	100.0%
	(男性)	3	7.9%	12	31.6%	16	42.1%	7	18.4%	0	0.0%	38	100.0%
	(女性)	6	14.6%	13	31.7%	15	36.6%	7	17.1%	0	0.0%	41	100.0%
	(不明)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
大学2年	(全体)	13	17.8%	15	20.5%	31	42.5%	14	19.2%	0	0.0%	73	100.0%
	(男性)	7	20.6%	5	14.7%	16	47.1%	6	17.6%	0	0.0%	34	100.0%
	(女性)	6	15.4%	10	25.6%	15	38.5%	8	20.5%	0	0.0%	39	100.0%
	(不明)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
大学3年	(全体)	10	20.0%	11	22.0%	20	40.0%	9	18.0%	0	0.0%	50	100.0%
	(男性)	3	16.7%	6	33.3%	6	33.3%	3	16.7%	0	0.0%	18	100.0%
	(女性)	7	21.9%	5	15.6%	14	43.8%	6	18.7%	0	0.0%	32	100.0%
	(不明)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
大学4年	(全体)	9	17.3%	19	36.5%	20	38.5%	4	7.7%	0	0.0%	52	100.0%
	(男性)	5	21.7%	11	47.8%	6	26.1%	1	4.4%	0	0.0%	23	100.0%
	(女性)	4	13.8%	8	27.6%	14	48.3%	3	10.3%	0	0.0%	29	100.0%
	(不明)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
不明	(全体)	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	2	100.0%
	(男性)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	(女性)	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	2	100.0%
	(不明)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

図表2-2-3a 発達障がいチェックリスト

問6 以下の文それぞれについて、あなたは経験したり、感じたりしたことがありますか？「0.無い」「1.有る」のいずれかを選択してください。  
(14)ざわざわした教室にいるのは耐えられない

		(0) 無い	(1) 有る	欠損 データ	T O T A L
TOTAL		1,220 65.1%	643 34.3%	11 0.6%	1,874 100.0%
性別	男性	617 67.1%	296 32.2%	6 0.7%	919 100.0%
	女性	603 63.2%	346 36.3%	5 0.5%	954 100.0%
	不明	0.0%	1 100.0%	0.0%	1 100.0%

図表2-2-3b 発達障がいチェックリスト

問6 以下の文それぞれについて、あなたは経験したり、感じたりしたことがありますか？その事であなたは困っていますか？  
(14)ざわざわした教室にいるのは耐えられない

		(1) 困 って いな い	い (2) え ば ど ち ら か と い い	い (3) え ば ど ち ら か と 困 っ て い る	(4) 困 っ て い る	欠損 データ	T O T A L
TOTAL		55 8.5%	187 29.1%	242 37.6%	156 24.3%	3 0.5%	643 100.0%
性別	男性	27 9.1%	82 27.7%	109 36.8%	76 25.7%	2 0.7%	296 100.0%
	女性	28 8.1%	104 30.1%	133 38.4%	80 23.1%	1 0.3%	346 100.0%
	不明	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%

学年別	性別	全体		欠損 データ	TOTAL
		人数	割合		
高校3年	(全体)	397 78.6%	103 20.4%	5 1.0%	505 100.0%
	(男性)	257 78.8%	66 20.3%	3 0.9%	326 100.0%
	(女性)	140 78.2%	37 20.7%	2 1.1%	179 100.0%
	(不明)				0 0.0%
大学1年	(全体)	247 59.5%	166 40.0%	2 0.5%	415 100.0%
	(男性)	110 58.5%	77 41.0%	1 0.5%	188 100.0%
	(女性)	137 60.6%	88 38.9%	1 0.5%	226 100.0%
	(不明)	0.0%	1 100.0%	0.0%	1 100.0%
大学2年	(全体)	221 62.6%	130 36.8%	2 0.6%	353 100.0%
	(男性)	103 65.6%	52 33.1%	2 1.3%	157 100.0%
	(女性)	118 60.2%	78 39.8%	0.0%	196 100.0%
	(不明)				0 0.0%
大学3年	(全体)	172 58.7%	121 41.3%	0 0.0%	293 100.0%
	(男性)	69 59.0%	48 41.0%	0.0%	117 100.0%
	(女性)	103 58.5%	73 41.5%	0.0%	176 100.0%
	(不明)				0 0.0%
大学4年	(全体)	181 60.5%	116 38.8%	2 0.7%	299 100.0%
	(男性)	77 60.6%	50 39.4%	0.0%	127 100.0%
	(女性)	104 60.5%	66 38.4%	2 1.1%	172 100.0%
	(不明)				0 0.0%
不明	(全体)	2 22.2%	7 77.8%	0 0.0%	9 100.0%
	(男性)	1 25.0%	3 75.0%	0.0%	4 100.0%
	(女性)	1 20.0%	4 80.0%	0.0%	5 100.0%
	(不明)				0 0.0%

学年別	性別	全体		欠損 データ	TOTAL		
		人数	割合				
高校3年	(全体)	13 12.6%	30 29.1%	38 36.9%	21 20.4%	1 1.0%	103 100.0%
	(男性)	8 12.1%	19 28.8%	23 34.9%	15 22.7%	1 1.5%	66 100.0%
	(女性)	5 13.5%	11 29.7%	15 40.6%	6 16.2%	0.0%	37 100.0%
	(不明)						0 0.0%
大学1年	(全体)	11 6.6%	46 27.7%	66 39.8%	42 25.3%	1 0.6%	166 100.0%
	(男性)	5 6.5%	20 26.0%	32 41.5%	19 24.7%	1 1.3%	77 100.0%
	(女性)	6 6.8%	25 28.4%	34 38.7%	23 26.1%	0.0%	88 100.0%
	(不明)	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
大学2年	(全体)	13 10.0%	35 26.9%	47 36.2%	35 26.9%	0 0.0%	130 100.0%
	(男性)	4 7.7%	11 21.2%	24 46.1%	13 25.0%	0.0%	52 100.0%
	(女性)	9 11.5%	24 30.8%	23 29.5%	22 28.2%	0.0%	78 100.0%
	(不明)						0 0.0%
大学3年	(全体)	8 6.6%	41 33.9%	39 32.2%	32 26.5%	1 0.8%	121 100.0%
	(男性)	4 8.3%	17 35.4%	10 20.9%	17 35.4%	0.0%	48 100.0%
	(女性)	4 5.5%	24 32.9%	29 39.7%	15 20.5%	1 1.4%	73 100.0%
	(不明)						0 0.0%
大学4年	(全体)	9 7.8%	33 28.4%	49 42.2%	25 21.6%	0 0.0%	116 100.0%
	(男性)	6 12.0%	15 30.0%	18 36.0%	11 22.0%	0.0%	50 100.0%
	(女性)	3 4.5%	18 27.3%	31 47.0%	14 21.2%	0.0%	66 100.0%
	(不明)						0 0.0%
不明	(全体)	1 14.3%	2 28.6%	3 42.8%	1 14.3%	0 0.0%	7 100.0%
	(男性)	0.0%	0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0.0%	3 100.0%
	(女性)	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0.0%	0.0%	4 100.0%
	(不明)						0 0.0%

図表2-2-4a 発達障がいチェックリスト

問6 以下の文それぞれについて、あなたは経験したり、感じたりしたことがありますか？「0.無い」「1.有る」のいずれかを選択してください。  
(22) 学業、クラブ・サークル、アルバイトなどから何を優先すべきか判断することが難しい

		(0) 無い	(1) 有る	欠損 データ	T O T A L
TOTAL		1,514 80.8%	350 18.7%	10 0.5%	1,874 100.0%
性別	男性	746 81.2%	166 18.1%	7 0.7%	919 100.0%
	女性	767 80.4%	184 19.3%	3 0.3%	954 100.0%
	不明	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%

図表2-2-4b 発達障がいチェックリスト

問6 以下の文それぞれについて、あなたは経験したり、感じたりしたことがありますか？その事であなたは困っていますか？  
(22) 学業、クラブ・サークル、アルバイトなどから何を優先すべきか判断することが難しい

		(1) 困 って いな い	い (2) え ば ど ち ら か と い い	い (3) え ば ど ち ら か と 困 っ て い る	(4) 困 っ て い る	欠損 データ	T O T A L
TOTAL		47 13.4%	104 29.7%	122 34.9%	76 21.7%	1 0.3%	350 100.0%
性別	男性	31 18.7%	46 27.7%	48 28.9%	40 24.1%	1 0.6%	166 100.0%
	女性	16 8.7%	58 31.5%	74 40.2%	36 19.6%	0 0.0%	184 100.0%
	不明	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

学年別		全体		男性		女性		欠損 データ	TOTAL
		人数	割合	人数	割合	人数	割合		
高校3年	(全体)	408	80.8%	93	18.4%	4	0.8%	4	505
	(男性)	267	81.9%	56	17.2%	3	0.9%	3	326
	(女性)	141	78.8%	37	20.7%	1	0.5%	1	179
	(不明)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0
大学1年	(全体)	325	78.3%	87	21.0%	3	0.7%	3	415
	(男性)	149	79.2%	37	19.7%	2	1.1%	2	188
	(女性)	175	77.4%	50	22.1%	1	0.5%	1	226
	(不明)	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	1
大学2年	(全体)	282	79.9%	69	19.5%	2	0.6%	2	353
	(男性)	123	78.3%	32	20.4%	2	1.3%	2	157
	(女性)	159	81.1%	37	18.9%	0	0.0%	0	196
	(不明)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0
大学3年	(全体)	237	80.9%	56	19.1%	0	0.0%	0	293
	(男性)	94	80.3%	23	19.7%	0	0.0%	0	117
	(女性)	143	81.2%	33	18.8%	0	0.0%	0	176
	(不明)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0
大学4年	(全体)	254	85.0%	44	14.7%	1	0.3%	1	299
	(男性)	109	85.8%	18	14.2%	0	0.0%	0	127
	(女性)	145	84.3%	26	15.1%	1	0.6%	1	172
	(不明)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0
不明	(全体)	8	88.9%	1	11.1%	0	0.0%	0	9
	(男性)	4	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	4
	(女性)	4	80.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	5
	(不明)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0

学年別		全体		男性		女性		欠損 データ	TOTAL		
		人数	割合	人数	割合	人数	割合				
高校3年	(全体)	15	16.1%	24	25.8%	31	33.4%	23	24.7%	0	93
	(男性)	14	25.0%	13	23.2%	16	28.6%	13	23.2%	0	56
	(女性)	1	2.7%	11	29.7%	15	40.6%	10	27.0%	0	37
	(不明)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0
大学1年	(全体)	10	11.5%	22	25.3%	33	37.9%	22	25.3%	0	87
	(男性)	7	18.9%	8	21.6%	12	32.5%	10	27.0%	0	37
	(女性)	3	6.0%	14	28.0%	21	42.0%	12	24.0%	0	50
	(不明)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0
大学2年	(全体)	7	10.1%	22	31.9%	26	37.7%	13	18.8%	1	69
	(男性)	4	12.5%	11	34.4%	8	25.0%	8	25.0%	1	32
	(女性)	3	8.1%	11	29.7%	18	48.7%	5	13.5%	0	37
	(不明)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0
大学3年	(全体)	8	14.3%	21	37.5%	16	28.6%	11	19.6%	0	56
	(男性)	2	8.7%	8	34.8%	7	30.4%	6	26.1%	0	23
	(女性)	6	18.2%	13	39.4%	9	27.3%	5	15.1%	0	33
	(不明)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0
大学4年	(全体)	7	15.9%	15	34.1%	15	34.1%	7	15.9%	0	44
	(男性)	4	22.2%	6	33.3%	5	27.8%	3	16.7%	0	18
	(女性)	3	11.5%	9	34.6%	10	38.5%	4	15.4%	0	26
	(不明)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0
不明	(全体)	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	1
	(男性)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0
	(女性)	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	1
	(不明)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0

図表2-3-1a 首尾一貫感覚

問13 以下の文それぞれについて「1.全くあてはまらない」～「7.非常にあてはまる」のうち、あなたにあてはまる数字1つを選んで○をつけてください。  
 (25) 私は、日常生じる困難や問題の解決策を見つけることができる

	(1)全くあてはまらない	(2)ほとんどあてはまらない	(3)あまりあてはまらない	(4)どちらともいえない	(5)少しあてはまる	(6)だいたいあてはまる	(7)非常にあてはまる	欠損データ	TOTAL	
TOTAL	50 2.7%	89 4.8%	276 14.7%	561 29.9%	570 30.4%	227 12.1%	90 4.8%	11 0.6%	1,874 100.0%	
性別	男性	29 3.2%	39 4.2%	125 13.6%	307 33.4%	264 28.7%	101 11.0%	49 5.3%	5 0.6%	919 100.0%
	女性	21 2.2%	49 5.2%	151 15.8%	254 26.6%	306 32.1%	126 13.2%	41 4.3%	6 0.6%	954 100.0%
	不明	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	

学年別		(全体)	(男性)	(女性)	(不明)	(全体)	(男性)	(女性)	(不明)	(全体)	(男性)	(女性)	(不明)	(全体)	(男性)	(女性)	(不明)	(全体)	(男性)	(女性)	(不明)	(全体)	(男性)	(女性)	(不明)	(全体)	(男性)	(女性)	(不明)	(全体)	(男性)	(女性)	(不明)	(全体)	(男性)	(女性)	(不明)
		高校3年	20 4.0%	16 4.9%	4 2.2%		18 3.6%	10 3.1%	8 4.5%		76 15.0%	50 15.3%	26 14.5%		209 41.4%	157 48.2%	52 29.1%		110 21.8%	59 18.1%	51 28.5%		40 7.9%	13 4.0%	27 15.1%		28 5.5%	19 5.8%	9 5.0%		4 0.8%	2 0.6%	2 1.1%		505 100.0%	326 100.0%	179 100.0%
大学1年	(全体)	12 2.9%	5 2.7%	7 3.1%		30 7.2%	13 6.9%	16 7.1%		64 15.4%	20 10.6%	44 19.5%		113 27.3%	52 27.7%	61 27.0%		137 33.0%	70 37.2%	67 29.6%		46 11.1%	21 11.2%	25 11.0%		10 2.4%	6 3.2%	4 1.8%		3 0.7%	1 0.5%	2 0.9%		415 100.0%	188 100.0%	226 100.0%	1 0.0%
	(男性)	5 2.7%	3 1.9%	7 3.1%		13 6.9%	10 6.4%	16 7.1%		20 10.6%	23 14.7%	44 19.5%		52 27.7%	43 27.4%	61 27.0%		70 37.2%	50 31.8%	67 29.6%		21 11.2%	19 12.1%	25 11.0%		6 3.2%	8 5.1%	4 1.8%		1 0.5%	2 0.9%		188 100.0%	226 100.0%	1 0.0%		
	(女性)	7 3.1%	3 1.5%	7 3.1%		16 7.1%	9 4.6%	16 7.1%		44 19.5%	30 15.3%	44 19.5%		61 27.0%	56 28.6%	67 29.6%		67 29.6%	65 33.2%	25 12.7%		25 11.0%	25 12.7%	25 11.0%		4 1.8%	8 4.1%	4 1.8%		2 0.9%	2 0.9%		226 100.0%	196 100.0%	0 0.0%		
	(不明)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%		1 100.0%			
大学2年	(全体)	6 1.7%	3 1.9%	3 1.5%		19 5.4%	10 6.4%	9 4.6%		53 15.0%	23 14.7%	30 15.3%		99 28.0%	43 27.4%	56 28.6%		115 32.6%	50 31.8%	65 33.2%		44 12.5%	19 12.1%	25 12.7%		16 4.5%	8 5.1%	8 4.1%		1 0.3%	1 0.6%	0 0.0%		353 100.0%	157 100.0%	196 100.0%	0 0.0%
	(男性)	3 1.9%	3 1.5%	3 1.5%		10 6.4%	10 6.4%	9 4.6%		23 14.7%	23 14.7%	30 15.3%		43 27.4%	43 27.4%	56 28.6%		50 31.8%	50 31.8%	65 33.2%		19 12.1%	19 12.1%	25 12.7%		8 5.1%	8 5.1%	8 4.1%		1 0.6%	1 0.6%	0 0.0%		157 100.0%	157 100.0%	196 100.0%	0 0.0%
	(女性)	3 1.5%	3 1.5%	3 1.5%		9 4.6%	9 4.6%	9 4.6%		30 15.3%	30 15.3%	30 15.3%		56 28.6%	56 28.6%	65 33.2%		65 33.2%	65 33.2%	25 12.7%		25 12.7%	25 12.7%	25 12.7%		8 4.1%	8 4.1%	8 4.1%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		196 100.0%	196 100.0%	0 0.0%	
	(不明)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%			
大学3年	(全体)	7 2.4%	3 2.6%	4 2.3%		13 4.4%	4 3.4%	9 5.1%		39 13.3%	18 15.4%	21 11.9%		67 22.9%	24 20.5%	43 24.4%		100 34.1%	35 29.9%	65 36.9%		49 16.7%	24 20.5%	25 14.2%		17 5.8%	9 7.7%	8 4.6%		1 0.4%	0 0.0%	1 0.6%		293 100.0%	117 100.0%	176 100.0%	0 0.0%
	(男性)	3 2.6%	3 2.6%	4 2.3%		4 3.4%	4 3.4%	9 5.1%		18 15.4%	18 15.4%	21 11.9%		24 20.5%	24 20.5%	43 24.4%		35 29.9%	35 29.9%	65 36.9%		24 20.5%	24 20.5%	25 14.2%		9 7.7%	9 7.7%	8 4.6%		0 0.0%	0 0.0%	1 0.6%		117 100.0%	117 100.0%	176 100.0%	0 0.0%
	(女性)	4 2.3%	4 2.3%	4 2.3%		9 5.1%	9 5.1%	9 5.1%		21 11.9%	21 11.9%	21 11.9%		43 24.4%	43 24.4%	65 36.9%		65 36.9%	65 36.9%	25 14.2%		25 14.2%	25 14.2%	25 14.2%		8 4.6%	8 4.6%	8 4.6%		1 0.6%	1 0.6%	1 0.6%		176 100.0%	176 100.0%	0 0.0%	
	(不明)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%			
大学4年	(全体)	5 1.7%	2 1.6%	3 1.7%		9 3.0%	2 1.6%	7 4.1%		43 14.4%	14 11.0%	29 16.9%		72 24.1%	31 24.4%	41 23.8%		103 34.4%	46 36.2%	57 33.1%		47 15.7%	24 18.9%	23 13.4%		18 6.0%	7 5.5%	11 6.4%		2 0.7%	1 0.8%	1 0.6%		299 100.0%	127 100.0%	172 100.0%	0 0.0%
	(男性)	2 1.6%	2 1.6%	3 1.7%		2 1.6%	2 1.6%	7 4.1%		14 11.0%	14 11.0%	29 16.9%		31 24.4%	31 24.4%	41 23.8%		46 36.2%	46 36.2%	57 33.1%		24 18.9%	24 18.9%	23 13.4%		7 5.5%	7 5.5%	11 6.4%		1 0.8%	1 0.8%	1 0.6%		127 100.0%	127 100.0%	172 100.0%	0 0.0%
	(女性)	3 1.7%	3 1.7%	3 1.7%		7 4.1%	7 4.1%	7 4.1%		29 16.9%	29 16.9%	29 16.9%		41 23.8%	41 23.8%	41 23.8%		57 33.1%	57 33.1%	23 13.4%		23 13.4%	23 13.4%	23 13.4%		11 6.4%	11 6.4%	11 6.4%		1 0.6%	1 0.6%	1 0.6%		172 100.0%	172 100.0%	0 0.0%	
	(不明)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%			
不明	(全体)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		1 11.1%	1 11.1%	1 20.0%		1 11.1%	1 11.1%	1 20.0%		5 55.6%	4 100.0%	1 20.0%		1 11.1%	1 11.1%	1 20.0%		1 11.1%	1 11.1%	1 20.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		9 100.0%	4 100.0%	5 100.0%	0 0.0%
	(男性)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%		4 100.0%	4 100.0%	1 100.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		4 100.0%	4 100.0%	5 100.0%	0 0.0%
	(女性)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%		1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%		1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%		1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%		1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		5 100.0%	5 100.0%	5 100.0%	0 0.0%
	(不明)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%			

図表2-3-1b 首尾一貫感覚

問13 以下の文それぞれについて「1.全くあてはまらない」～「7.非常にあてはまる」のうち、あなたにあてはまる数字1つを選んで○をつけてください。  
 (26) 私は、人生で生じる困難や問題のいくつかは、向き合い、取り組む価値があると思う

		(1) まら ない	(2) はま らな い	(3) あま りあ て はま らな い	(4) どち らと も い え な い	(5) 少 し あ て は ま る	(6) だ い た い あ て は ま る	(7) 非 常 に あ て は ま る	欠 損 デ ー タ	T O T A L
TOTAL		27 1.4%	28 1.5%	69 3.7%	252 13.4%	528 28.2%	468 25.0%	497 26.5%	5 0.3%	1,874 100.0%
性別	男性	24 2.6%	18 2.0%	47 5.1%	175 19.0%	236 25.7%	187 20.4%	231 25.1%	1 0.1%	919 100.0%
	女性	3 0.3%	10 1.0%	22 2.3%	77 8.1%	292 30.6%	280 29.4%	266 27.9%	4 0.4%	954 100.0%
	不明	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%

学年別										
		(1) まら ない	(2) はま らな い	(3) あま りあ て はま らな い	(4) どち らと も い え な い	(5) 少 し あ て は ま る	(6) だ い た い あ て は ま る	(7) 非 常 に あ て は ま る	欠 損 デ ー タ	T O T A L
高校3年	(全体)	12 2.4%	13 2.6%	28 5.5%	125 24.8%	128 25.3%	87 17.2%	111 22.0%	1 0.2%	505 100.0%
	(男性)	11 3.4%	8 2.4%	23 7.1%	112 34.4%	78 23.9%	43 13.2%	51 15.6%	0 0.0%	326 100.0%
	(女性)	1 0.6%	5 2.8%	5 2.8%	13 7.3%	50 27.9%	44 24.6%	60 33.5%	1 0.5%	179 100.0%
	(不明)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
大学1年	(全体)	6 1.4%	7 1.7%	15 3.6%	43 10.4%	119 28.7%	118 28.4%	105 25.3%	2 0.5%	415 100.0%
	(男性)	5 2.7%	5 2.7%	7 3.7%	21 11.2%	52 27.6%	48 25.5%	49 26.1%	1 0.5%	188 100.0%
	(女性)	1 0.5%	2 0.9%	8 3.5%	22 9.7%	67 29.7%	69 30.5%	56 24.8%	1 0.4%	226 100.0%
	(不明)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
大学2年	(全体)	4 1.1%	3 0.9%	11 3.1%	44 12.5%	105 29.7%	91 25.8%	94 26.6%	1 0.3%	353 100.0%
	(男性)	4 2.5%	2 1.3%	8 5.1%	22 14.0%	40 25.5%	35 22.3%	46 29.3%	0 0.0%	157 100.0%
	(女性)	0 0.0%	1 0.5%	3 1.5%	22 11.2%	65 33.2%	56 28.6%	48 24.5%	1 0.5%	196 100.0%
	(不明)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
大学3年	(全体)	2 0.7%	4 1.4%	6 2.0%	21 7.2%	85 29.0%	85 29.0%	89 30.4%	1 0.3%	293 100.0%
	(男性)	2 1.7%	2 1.7%	4 3.4%	13 11.1%	32 27.4%	26 22.2%	38 32.5%	0 0.0%	117 100.0%
	(女性)	0 0.0%	2 1.1%	2 1.1%	8 4.6%	53 30.1%	59 33.5%	51 29.0%	1 0.6%	176 100.0%
	(不明)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
大学4年	(全体)	3 1.0%	0 0.0%	8 2.7%	19 6.3%	88 29.4%	86 28.8%	95 31.8%	0 0.0%	299 100.0%
	(男性)	2 1.6%	0 0.0%	4 3.1%	7 5.5%	34 26.8%	34 26.8%	46 36.2%	0 0.0%	127 100.0%
	(女性)	1 0.6%	0 0.0%	4 2.3%	12 7.0%	54 31.4%	52 30.2%	49 28.5%	0 0.0%	172 100.0%
	(不明)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
不明	(全体)	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	3 33.4%	1 11.1%	3 33.3%	0 0.0%	9 100.0%
	(男性)	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%
	(女性)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	5 100.0%
	(不明)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表2-3-1c 首尾一貫感覚

問13 以下の文それぞれについて「1.全くあてはまらない」～「7.非常にあてはまる」のうち、あなたにあてはまる数字1つを選んで○をつけてください。  
 (27)私は、日常生活の困難や問題を理解したり予測したりできる

		(1) 全くあては まらない	(2) ほとんどあ てはまらない	(3) あまりあて はまらない	(4) どちらとも いえません	(5) 少しあては まる	(6) だいたいあ てはまる	(7) 非常にあて はまる	欠損デ ータ	T O T A L
TOTAL		44 2.4%	71 3.8%	248 13.2%	567 30.3%	576 30.7%	252 13.4%	112 6.0%	4 0.2%	1,874 100.0%
性別	男性	29 3.2%	37 4.0%	102 11.1%	297 32.3%	267 29.0%	123 13.4%	63 6.9%	1 0.1%	919 100.0%
	女性	15 1.6%	34 3.6%	146 15.3%	270 28.3%	309 32.4%	129 13.5%	48 5.0%	3 0.3%	954 100.0%
	不明	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%

学年別										
		(1) 全くあては まらない	(2) ほとんどあ てはまらない	(3) あまりあて はまらない	(4) どちらとも いえません	(5) 少しあては まる	(6) だいたいあ てはまる	(7) 非常にあて はまる	欠損デ ータ	T O T A L
高校3年	(全体)	18 3.6%	23 4.5%	70 13.9%	203 40.2%	120 23.8%	47 9.3%	22 4.3%	2 0.4%	505 100.0%
	(男性)	12 3.7%	14 4.3%	39 12.0%	148 45.4%	72 22.1%	23 7.0%	17 5.2%	1 0.3%	326 100.0%
	(女性)	6 3.4%	9 5.0%	31 17.3%	55 30.7%	48 26.8%	24 13.4%	5 2.8%	1 0.6%	179 100.0%
	(不明)									0 0.0%
大学1年	(全体)	10 2.4%	19 4.6%	69 16.6%	114 27.5%	123 29.6%	54 13.0%	25 6.0%	1 0.3%	415 100.0%
	(男性)	6 3.2%	8 4.2%	21 11.2%	49 26.0%	65 34.6%	24 12.8%	15 8.0%	0 0.0%	188 100.0%
	(女性)	4 1.8%	11 4.9%	48 21.2%	65 28.7%	58 25.7%	30 13.3%	9 4.0%	1 0.4%	226 100.0%
	(不明)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
大学2年	(全体)	4 1.1%	14 4.0%	43 12.2%	98 27.8%	124 35.1%	46 13.0%	23 6.5%	1 0.3%	353 100.0%
	(男性)	4 2.5%	9 5.7%	18 11.5%	46 29.3%	49 31.2%	18 11.5%	13 8.3%	0 0.0%	157 100.0%
	(女性)	0 0.0%	5 2.5%	25 12.8%	52 26.5%	75 38.3%	28 14.3%	10 5.1%	1 0.5%	196 100.0%
	(不明)									0 0.0%
大学3年	(全体)	7 2.4%	12 4.1%	25 8.5%	72 24.6%	111 37.9%	49 16.7%	17 5.8%	0 0.0%	293 100.0%
	(男性)	4 3.4%	4 3.4%	7 6.0%	28 24.0%	44 37.6%	24 20.5%	6 5.1%	0 0.0%	117 100.0%
	(女性)	3 1.7%	8 4.5%	18 10.2%	44 25.0%	67 38.1%	25 14.2%	11 6.3%	0 0.0%	176 100.0%
	(不明)									0 0.0%
大学4年	(全体)	5 1.7%	2 0.7%	40 13.4%	78 26.1%	96 32.1%	54 18.0%	24 8.0%	0 0.0%	299 100.0%
	(男性)	3 2.4%	1 0.8%	16 12.6%	26 20.5%	37 29.1%	32 25.2%	12 9.4%	0 0.0%	127 100.0%
	(女性)	2 1.2%	1 0.6%	24 13.9%	52 30.2%	59 34.3%	22 12.8%	12 7.0%	0 0.0%	172 100.0%
	(不明)									0 0.0%
不明	(全体)	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	2 22.3%	2 22.2%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	9 100.0%
	(男性)	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	(女性)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
	(不明)									0 0.0%

図表2-4-1a 学業適応感

問6 以下の文それぞれについて、あなたは経験したり、感じたりしたことがありますか？「0.無い」「1.有る」のいずれかを選択してください。  
(41) 勉強・学問のことで負担が大きいと感じる

		(0) 無い	(1) 有る	欠損 データ	T O T A L
TOTAL		1,277 68.1%	581 31.0%	16 0.9%	1,874 100.0%
性別	男性	633 68.9%	279 30.3%	7 0.8%	919 100.0%
	女性	643 67.4%	302 31.7%	9 0.9%	954 100.0%
	不明	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%

図表2-4-1b 学業適応感

問6 以下の文それぞれについて、あなたは経験したり、感じたりしたことがありますか？その事であなたは困っていますか？  
(41) 勉強・学問のことで負担が大きいと感じる

		(1) 困 って いな い	(2) い え ば ど ち ら か と い い 	(3) い え ば 困 っ て い ら か と い い 	(4) 困 っ て い る	欠損 データ	T O T A L
TOTAL		58 10.0%	170 29.2%	226 38.9%	116 20.0%	11 1.9%	581 100.0%
性別	男性	23 8.3%	79 28.3%	106 38.0%	64 22.9%	7 2.5%	279 100.0%
	女性	35 11.6%	91 30.1%	120 39.8%	52 17.2%	4 1.3%	302 100.0%
	不明						0 0.0%

学年別		全体		男性		女性		欠損 データ	TOTAL
		人数	割合	人数	割合	人数	割合		
高校3年	(全体)	351	69.5%	147	29.1%	7	1.4%	7	505
	(男性)	237	72.7%	85	26.1%	4	1.2%	4	326
	(女性)	114	63.7%	62	34.6%	3	1.7%	3	179
	(不明)								0
大学1年	(全体)	248	59.8%	165	39.7%	2	0.5%	2	415
	(男性)	113	60.1%	74	39.4%	1	0.5%	1	188
	(女性)	134	59.3%	91	40.3%	1	0.4%	1	226
	(不明)	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	1
大学2年	(全体)	224	63.5%	125	35.4%	4	1.1%	4	353
	(男性)	99	63.0%	56	35.7%	2	1.3%	2	157
	(女性)	125	63.8%	69	35.2%	2	1.0%	2	196
	(不明)								0
大学3年	(全体)	211	72.0%	81	27.7%	1	0.3%	1	293
	(男性)	81	69.2%	36	30.8%	0	0.0%	0	117
	(女性)	130	73.8%	45	25.6%	1	0.6%	1	176
	(不明)								0
大学4年	(全体)	239	79.9%	58	19.4%	2	0.7%	2	299
	(男性)	100	78.7%	27	21.3%	0	0.0%	0	127
	(女性)	139	80.8%	31	18.0%	2	1.2%	2	172
	(不明)								0
不明	(全体)	4	44.4%	5	55.6%	0	0.0%	0	9
	(男性)	3	75.0%	1	25.0%	0	0.0%	0	4
	(女性)	1	20.0%	4	80.0%	0	0.0%	0	5
	(不明)								0

学年別		全体		男性		女性		欠損 データ	TOTAL
		人数	割合	人数	割合	人数	割合		
高校3年	(全体)	17	11.6%	40	27.2%	59	40.1%	27	147
	(男性)	10	11.8%	26	30.6%	29	18.8%	4	85
	(女性)	7	11.3%	14	22.6%	30	48.4%	11	62
	(不明)								0
大学1年	(全体)	5	3.1%	50	30.3%	70	42.4%	35	165
	(男性)	2	2.7%	21	28.4%	33	44.6%	17	74
	(女性)	3	3.3%	29	31.9%	37	40.6%	18	91
	(不明)								0
大学2年	(全体)	17	13.6%	36	28.8%	48	38.4%	22	125
	(男性)	5	8.9%	13	23.2%	25	44.7%	11	56
	(女性)	12	17.4%	23	33.3%	23	33.3%	11	69
	(不明)								0
大学3年	(全体)	8	9.9%	22	27.1%	31	38.3%	20	81
	(男性)	3	8.4%	9	25.0%	12	33.3%	12	36
	(女性)	5	11.1%	13	28.9%	19	42.2%	8	45
	(不明)								0
大学4年	(全体)	11	19.0%	21	36.2%	17	29.3%	9	58
	(男性)	3	11.1%	9	33.4%	7	25.9%	8	27
	(女性)	8	25.8%	12	38.7%	10	32.3%	1	31
	(不明)								0
不明	(全体)	0	0.0%	1	20.0%	1	20.0%	3	5
	(男性)	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	1
	(女性)	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	3	4
	(不明)								0

平成 25 年度 日本学生支援機構  
障害学生修学支援ネットワーク充実・強化事業  
障害学生支援に関する調査研究

平成 26 年 3 月

【研究・執筆】

関西学院大学 研究プロジェクトメンバー

(教員)

文学部 教授 米山直樹

人間福祉学部 教授 井出 浩

文学部 教授 成田健一

文学部 契約助手 榎木隆寿

(総合支援センタースタッフ)

課長 徳田真二

学生支援相談室カウンセラー 中島道子

キャンパス自立支援室コーディネータ 鈴木ひみこ

キャンパス自立支援室コーディネータ 大江佐知子

(大学院生)

大学院文学研究科 博士課程後期院生 吉田絵美

(サポートスタッフ)

文学部 4 年生 里見香奈

住所：〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155

電話番号： 0798-54-7034

FAX 番号： 0798-54-7044

E-Mail: kg2013@kwansei.ac.jp

独立行政法人 日本学生支援機構

学生生活部 障害学生支援課

〒135-8630 東京都江東区青海 2-2-1

E-Mail : tokubetsushien@jasso.go.jp

URL : [http://www.jasso.go.jp/tokubetsu\\_shien/index.html](http://www.jasso.go.jp/tokubetsu_shien/index.html)

※無断転載を禁じます。